自立と共生 誠実 勤勉 仁愛 共に育っ、わくわく悩む。

教学IR 情報公開

文京学院大学 - IR組織の紹介と取り組み事例-

2023年9月20日(水)

文京学院大学

戦略企画·IR推進室 特任助教 石村 友二郎

目次

■ この資料では、以下の内容を紹介します。

01 本学とIR組織の紹介	p . 4
02 教学IRをきっかけとした取り組み事例	p.12
03	
04	

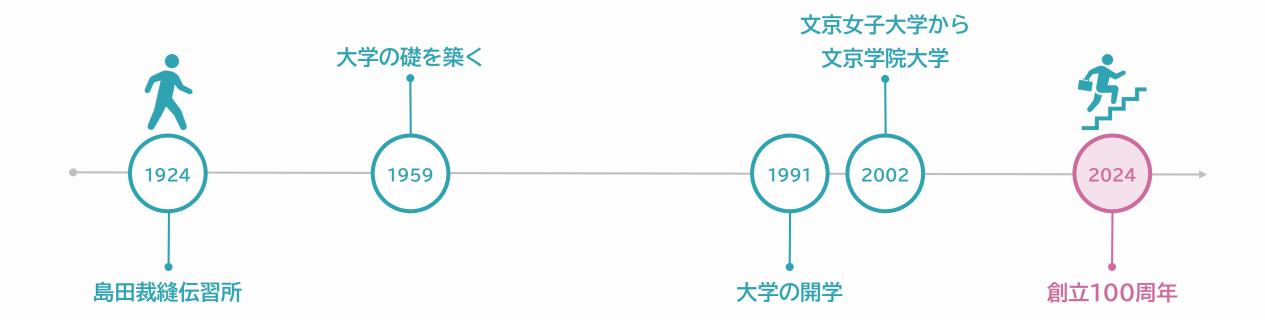
目次

■ はじめに、本学の本学のIR組織の概要を紹介します。

01	本学とIR組織の紹介	p.4
02	教学IRをきっかけとした取り組み事例	p.12
03		
04		

■ 本学は2024年で、創立100周年を迎えます。

自立と共生



■ 本学には2つのキャンパスがあります。



埼玉県 ふじみ野市 ■ 両キャンパスを合わせて、4学部+大学院の構成で多くの学生が在籍しています。



在籍数





477_名

*2023年5月時点

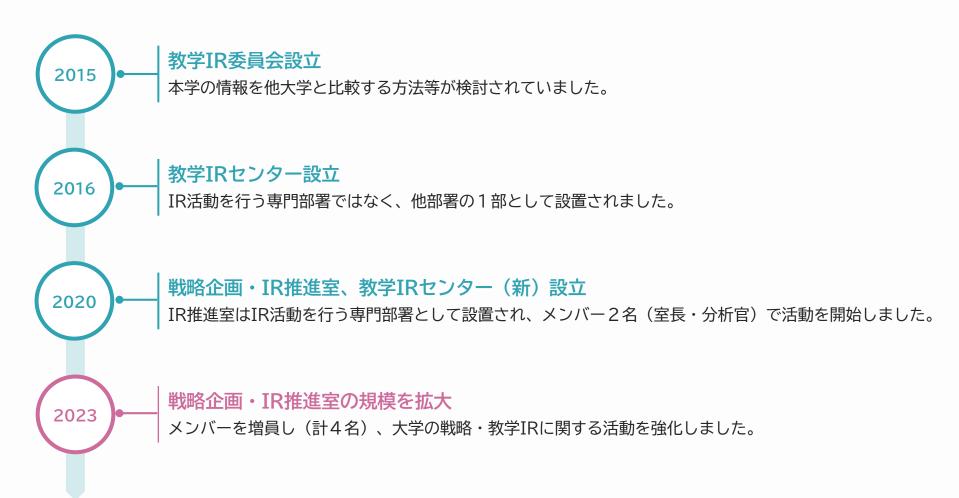
■ 主に学生のデータを扱うIR活動(教学)は、本郷キャンパスの「戦略企画・IR推進室」で行われています。







■ 戦略企画・IR推進室は8年目を迎え、活動の幅を広げています。



01 大学とIR組織の紹介

■ 戦略企画・IR推進室の活動内容には、以下の3つがあります。



戦略企画

大学の教育改革、研究戦略 を企画。大学運営や意思決 定を支援。



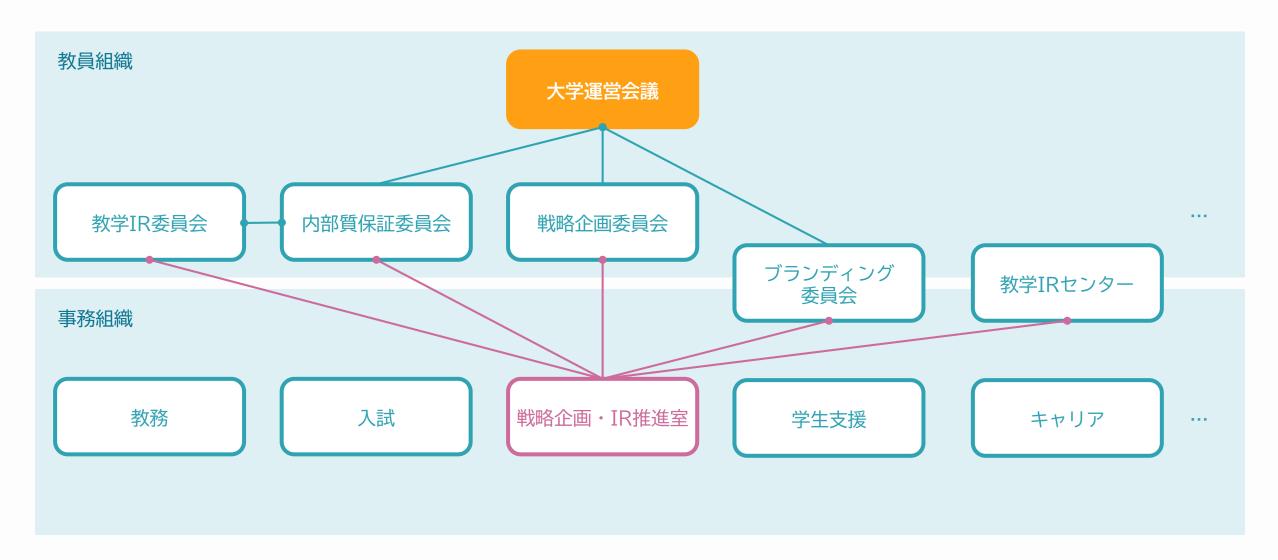
ブランディング

本学のブランドを学外・学内に広める活動を支援。



教学IR

学修状況の報告。教学IR 委員会、教学IRセンター の運営機能向上。学内IR 活動推進。 ■ 戦略企画・IR推進室の位置づけは事務組織で、様々な委員会と連携しています。



目次

■ 教学IRをきっかけとした取り組み事例を紹介します。



- IR推進室では、学生、教学IR委員会、他部署の観点で分析を扱っています。
- ここでは4つの取り組み事例を紹介します。

CASE 01

定期的な分析

毎年実施している学生を対象した調査の分析



CASE **02** ミッション分析

教学IR委員会のミッションに伴う分析



CASE 03

分析依頼

学部や他の委員会から依頼された分析



CASE 04

今後の取り組み

学部や他の委員会から依頼された分析



■ 定期的な分析の概要を紹介します。

- 学修状況調査(学修時間、場所などを調査)
- PROG、GPS-Academic (社会人に必要な能力を測定)









4年生

• 卒業生アンケート(身に付けた力や満足度を調査)

STEP 1 ------ STEP 2 ------ STEP 3 ------ STEP 4



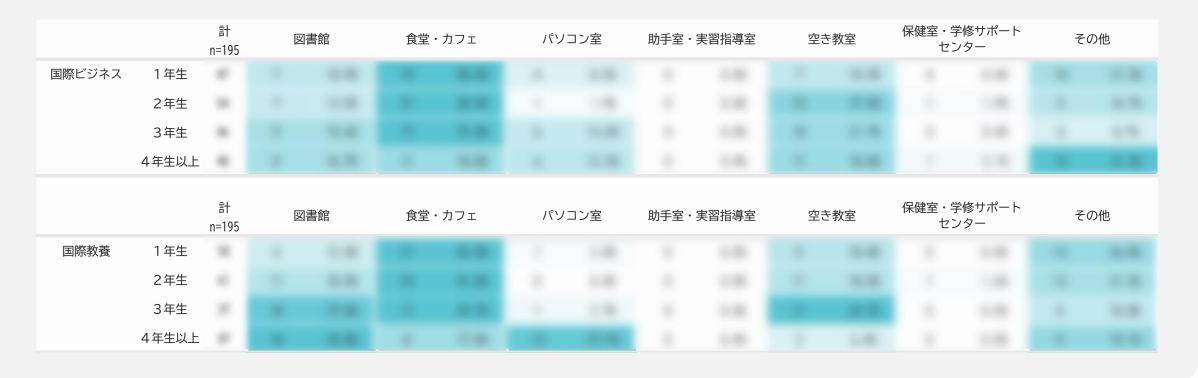


今後、ディプロマサプリメントにIR情報を 活用することを検討しています。 ■ 定期的な分析では、個人が特定されない形式で結果を提示しています。

CASE

01 定期的な分析 -学修状況・能力の現状把握-

【問5】大学での授業時間以外における主な<mark>学修場所</mark>はどこですか。1つ選んでください。



■ 教学IR委員会のミッションに伴う分析では、退学防止に関する分析と活動を行いました。

CASE

02 ミッション分析 -退学防止-

ミッション



- IRの視点で退学防止
- 学内で集めているデータを 活用して退学者の特徴を調査

様々な観点から分析

入試種別

PROG

授業満足度

分析



- 明確な傾向はみられなかった
- 退学理由は多種多様
- データ数が少なく統計的な 分析が難しい
- 別のアプローチを提案

施策



- 退学検討者へのアプローチに 差が出ないよう教職協働を強化
- 教職員一人一人の紹介動画を 作成し、学内サイトで公開
- 退学防止効果の検証は難しい

■ 他部署から依頼される分析では、分析結果を大学改革へつなげました。

CASE

03 分析依頼 -内定時期とPROGの関連性-

依頼

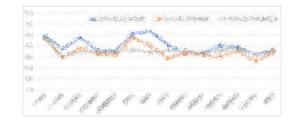


- キャリアの視点から大学改革に つながる施策を提案したい
- 就活状況に合ったキャリア支援ができるように、内定時期と社会人基礎力の関係に着目
- 内定が遅い学生と、PROGの スコアの関係性を分析

分析



内定が遅い学生は、一部の学部で「親和力」「協働力」に弱点が見つかった



活用



- 大学改革のプレゼンで、キャリアチームの提案の1つに、エビデンスとして分析結果を活用
- 今後実現に向けて、様々な支援 を検討中

■ 学外向けサイト・学内向けサイトに教学IRをきっかけとした分析結果を公開しています。

CASE

04 今後の取り組み -分析結果の公開-

■ 学内向け公開情報

成績情報(累積GPA)

社会人基礎力(PROG・GPS-Academic)

学修満足度(学修状況調査)

卒業生満足度(卒業生アンケート)

分析依頼

